



ヘッジファンドSMTBセレクション(SMA専用)

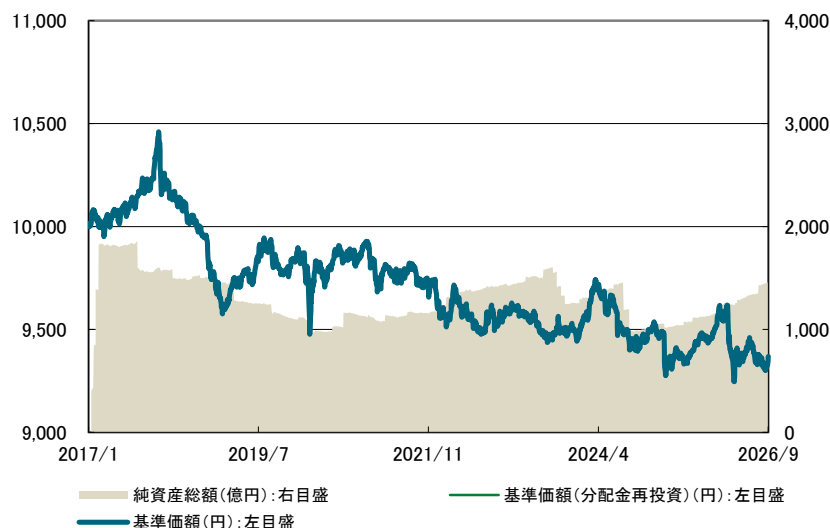
追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2017年1月31日

作成基準日 : 2026年9月30日



基準価額の推移



※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。

※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

基準価額、純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	9,369 円	+ 26 円
純資産総額	1,463.63 億円	+ 25.73 億円

期間別騰落率

	騰落率
1ヵ月	0.28%
3ヵ月	-0.71%
6ヵ月	0.49%
1年	-0.66%
3年	-1.51%
設定来	-6.31%

※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額 0 円

決算期	2024年7月	2025年7月	2026年7月
分配金	0 円	0 円	0 円

※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。



ヘッジファンドSMTBセレクション(SMA専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2017年1月31日

作成基準日 : 2026年9月30日



資産内容

投資対象	配分比率	月間騰落率
ピクテ マルチストラテジー リンク マザーファンド	16.48%	0.57%
MAN AHL ダイバーシファイド リンク マザーファンド	3.98%	7.26%
コモディティLSアルファ・マザーファンド	15.03%	-2.01%
GBCAマザーファンド(ミドルリスク型)	9.85%	0.76%
マルチ・ストラテジー・ファンド(適格機関投資家専用)	6.83%	-0.91%
BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund — クラスS-JPY	16.56%	-0.93%
MA Hedge Fund Strategies Limited	14.83%	0.31%
Managed Fund / Graham Quant Macro Fund Limited Class BR	3.85%	5.17%
JPMorgan Funds – Europe Equity Absolute Alpha Fund Class I(perf) (acc) – JPY (hedged)	10.82%	1.19%
マネープールマザーファンド	–	–
コール・その他	1.77%	–

※ 対純資産総額比です。

※ 投資対象の組入開始後1ヵ月経過していない場合は、「月間騰落率」の数値を表示しておりません。

ファンドマネージャーのコメント

国内株式市場は下落しました。中東情勢の緊迫化による原油高を受けたインフレ懸念やAI(人工知能)関連企業の旺盛な資金需要、各国の財政悪化懸念などを背景とした世界的な長期金利上昇を受けて、投資家のリスク回避姿勢が強まりました。

外国株式市場も下落しました。米国では、原油価格の上昇を背景としたインフレ懸念や堅調な米8月雇用統計などによる追加利上げ観測の高まりから売りが優勢となりました。欧州では、インフレ懸念による金利上昇や、中東情勢の先行き不透明感による原油価格の高止まりなどが重石となりました。

国内債券市場では、金利は上昇(債券価格は下落)しました。2027年度予算における各省庁からの概算要求が過去最大規模となる143兆円であったことや、日銀による早期追加利上げ観測、国債需給の悪化懸念などが金利上昇要因となりました。

外国債券市場でも金利は上昇しました。米国では、FRB(米連邦準備理事会)のタカ派的な利上げや原油高、米経済指標の底堅さなどが金利上昇圧力となりました。欧州では、ECB(欧州中央銀行)による利上げや、原油高に伴うインフレ懸念に加え、欧州主要国の財政不安などをを受けて金利が上昇しました。

為替市場では、円は対主要通貨で上昇しました。日銀の追加利上げ観測に加えて、日米政府高官による円安をけん制する発言などを受けて円高が進行しました。

このような環境において、「MAN AHL ダイバーシファイド リンク マザーファンド」や「Managed Fund / Graham Quant Macro Fund Limited Class BR」などが堅調となったことから、ファンド全体の騰落率は+0.28%となりました。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ヘッジファンドSMTBセレクション(SMA専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2017年1月31日
作成基準日 : 2026年9月30日



ピクテ マルチストラテジー リンク マザーファンドの資産の状況

※ 以下の内容は、当ファンドの連動対象ファンドである「Pictet TR – Diversified Alpha」における当月の数値です。当ファンドの基準価額へは遅れて反映されるため、当ファンドの騰落率とは一致しません。

Pictet TR – Diversified Alphaの資産の状況

戦略別リスク配分・月間収益寄与度

戦略	比率	騰落率	寄与度
世界株式	10.33%	0.26%	0.07%
グローバル・セレクト株式	9.18%	-0.28%	-0.06%
グレーター・チャイナ株式	8.86%	1.10%	0.23%
エマージング・フロンティア債券	8.47%	0.42%	0.09%
グローバル・クオリティ株式	8.17%	2.09%	0.41%
M&Aアービトラージ	7.71%	0.93%	0.17%
新興国株式	7.48%	-0.38%	-0.07%
マシン・ラーニング株式	6.52%	1.23%	0.19%
新興国株式(除くアジア)	6.03%	0.42%	0.06%
アジア・イベント・ドリブン	5.85%	0.04%	0.00%
為替・金利(新興国)	4.49%	-0.01%	0.02%
オポチュニスティック・クレジット	4.13%	-1.02%	-0.10%
日本株式	3.24%	-0.50%	-0.04%
欧州中型株式	2.74%	-1.18%	-0.06%
転換社債アービトラージ	2.36%	-0.05%	0.01%
グローバル金融関連株式	2.27%	0.00%	0.00%
グローバル・エネルギー関連株式	2.18%	0.65%	0.03%
スイス株式	0.00%	0.46%	0.01%
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

※ 対純資産総額比です。

市場動向と運用実績

【市場動向】

9月の世界の株式市場は、中東情勢の緊迫化に伴う原油高やインフレ懸念、FRB(米連邦準備理事会)の利上げを背景とした米金利上昇が重石となり、下落しました。AI(人工知能)関連銘柄への買いが下支えとなる局面もありましたが、長期金利上昇によるバリュエーションへの下押し圧力が優勢となりました。世界の債券市場では、世界的なインフレ圧力の高まりや底堅い米経済指標などを受けて、高金利環境の長期化が意識され、主要国の国債利回りは上昇(価格は下落)しました。主要国の財政赤字への懸念も国債の売り圧力を強めました。

【運用実績】

9月のポートフォリオのリターンはプラスとなりました。
セグメント別では、グローバル・クオリティ株式が最もプラスに寄与しました。ロングサイドで保有する英国のエネルギー会社について、中東情勢の緊迫化を背景に、原油や天然ガス価格の上昇による業績期待の高まりの中で株価が上昇し、プラスに寄与しました。一方で、オポチュニスティック・クレジットが最もマイナスに影響しました。ロングサイドで保有するフランスの通信会社について、ベース金利となるフランス国債利回りが上昇したことに加え、傘下企業の売却を巡る規制当局の審査や債務再編の実行に関わる不透明感が意識され、クレジット・スプレッドが大幅に上昇したことがマイナスに影響しました。

※ 「Pictet TR – Diversified Alpha」の資産内容等は、三井住友トラスト・アセットマネジメントが、ピクテグループの運用会社からの情報提供に基づき作成しておりますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ヘッジファンドSMTBセレクション(SMA専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2017年1月31日

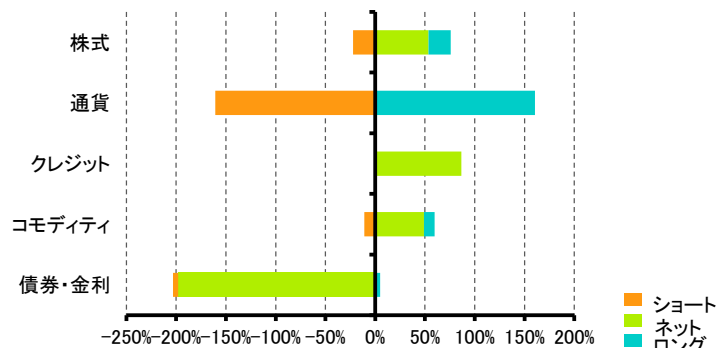
作成基準日 : 2026年9月30日

MAN AHL ダイバーシファイドリンク マザーファンドの資産の状況

※ 以下の内容は、当ファンドの連動対象ファンドである「Man AHL Diversified (Gayman)Ltd」(以下「MAN AHLファンド」)における当月の数値です。当ファンドの基準価額へは遅れて反映されるため、当ファンドの騰落率とは一致しません。

MAN AHLファンドの資産の状況

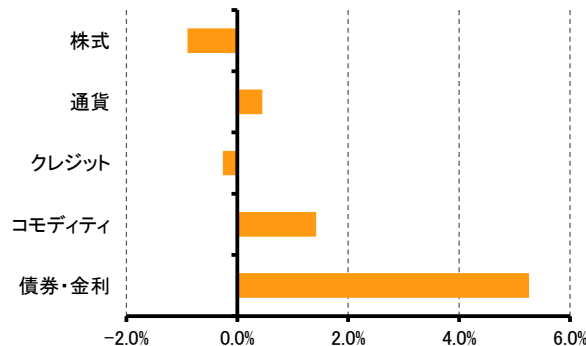
資産別エクスポージャー



※ 対純資産総額比です。

※ エクスポージャーは、「MAN AHLファンド」における投資元本に対する株式、通貨、債券・金利の取引の想定元本の割合を示しています。

資産別月間収益寄与度



※ 「MAN AHLファンド」における寄与度であり、当ファンドの寄与度とは一致しないことがあります。

寄与度上位5銘柄

	銘柄	寄与度	ロング/ショート
1	SOFR(3か月)	1.34%	ショート
2	ユーロボ	0.69%	ショート
3	スウェーデンクローナ/米ドル	0.52%	ショート
4	スイスフラン/米ドル	0.51%	ショート
5	カナダドル/米ドル	0.46%	ショート

寄与度下位5銘柄

	銘柄	寄与度	ロング/ショート
1	メキシコペソ/米ドル	-0.74%	ロング
2	日本円/米ドル	-0.33%	ショート
3	小麦	-0.31%	ロング
4	トウモロコシ	-0.30%	ロング
5	オーストラリアドル/米ドル	-0.29%	ロング

市場動向と運用実績

【市場動向】

当月は、エネルギー価格の上昇や米国の底堅い景気動向を受けてFRB(米連邦準備理事会)は予想通り利上げを実施し、タカ派的な内容のドットチャート(政策金利の予想水準の分布図)を公表したほか、ECB(欧州中央銀行)と日銀も利上げを実施しました。名目金利・実質金利ともに上昇(債券価格は下落)したことがリスク資産の重石となったほか、地政学的緊張が続く中、グローバル株式は下落から横ばいとなりました。AI(人工知能)に対する期待の高まりを背景に半導体株はアウトパフォームしました。コモディティ市場では、米国とイランの協議が停滞し、供給懸念が強まったことでブレント原油が大幅に上昇しました。為替市場では、米国の金利上昇を背景に、米ドルが円を除く主要通貨に対して上昇しました。

【運用実績】

このような環境下において、当ファンドは、債券・金利セクターとコモディティ・セクターから収益を獲得し、プラス・リターンとなりました。

債券・金利セクターは、主要地域の債券市場で金利が上昇する中、イールドカーブ全体にわたるショート・ポジションから収益を獲得し、最も大きくプラス寄与となりました。特に、イールドカーブが全般的にベア・フラット化する中で、SOFR(3カ月)など、米国の短期金利のショート・ポジションがリターンをけん引しました。

コモディティ・セクターは、プラス寄与しました。エネルギーでは、ブレント原油の上昇に追従した軽油、欧州の天然ガス、改質ガソリンのロング・ポジションなどから収益を獲得しました。一方、農産物では小麦やトウモロコシのロング・ポジションがマイナスに影響しました。金属では、実質金利の上昇が重石となった金のロング・ポジションなどから損失が発生しました。

通貨セクターもプラス寄与となりました。米国の金利上昇を受け、全般的に米ドル高となったことで、米ドルに対するスウェーデンクローナやスイスフランのショート・ポジションなどから収益を獲得しました。一方、インフレ高止まりにもかかわらず景気懸念からメキシコ中央銀行がハト派姿勢を維持した結果、対米ドルで下落したメキシコ・ペソのロング・ポジションから損失が発生しました。

株式セクターはマイナスに影響しました。世界的にリスク選好姿勢が後退する中、主にドイツDAX、フランスCAC 40、米国ラッセル2000指数のロング・ポジションなどから損失が発生しました。

※ 「MAN AHLファンド」の資産内容等は、三井住友トラスト・アセットマネジメントが、AHL Partners LLPからの情報提供に基づき作成しておりますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ヘッジファンドSMTBセレクション(SMA専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2017年1月31日
作成基準日 : 2026年9月30日



コモディティLSアルファ・マザーファンドの資産の状況

資産内容

円建債券	99.01%
短期金融資産等	0.99%
合 計	100.00%

※ 対純資産総額比です。

銘柄名	通貨	比率
STAR HELIOS 0% 07/16/27	日本円	38.09%
ソシエテ・ジェネラル 0% 2027/02/26	日本円	30.75%
MS SPACE II 0% 2030/03/29	日本円	30.17%
-	-	-
-	-	-
合 計	-	99.01%

※ 対純資産総額比です。

市場動向と運用実績

「コモディティLSアルファ・マザーファンド」の主要投資対象である円建債券の構成指数であるブルームバーク商品フォワード指数の騰落率がブルームバーク商品指数の騰落率を下回ったため、当ファンドのリターンはマイナスとなりました。

【ご参考】ブルームバーク商品指数の構成比

	商品	構成比
エネルギー	天然ガス	38.89%
	WTI原油	
	ブレント原油	
	ULSディーゼル	
	RBOBガソリン	
	低硫黄軽油	
家畜	生牛	4.20%
	豚赤身肉	
穀物	トウモロコシ	21.37%
	大豆	
	小麦	
	大豆粕	
	HRW小麦	
	大豆油	
非鉄	銅	13.83%
	アルミニウム	
	亜鉛	
	ニッケル	
	鉛	
貴金属	金	13.99%
	銀	
農産物	砂糖	7.72%
	コーヒー	
	綿(コットン)	
	ココア	
合 計		100.00%

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ヘッジファンドSMTBセレクション(SMA専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2017年1月31日

作成基準日 : 2026年9月30日

GBCAマザーファンド(ミドルリスク型)の資産の状況

特性値

ネット最終利回り	1.27 %
ネットデュレーション	4.72
ネットエクスポージャー	39.45 %
うち債券	39.45 %
うち通貨	0.00 %

※ 各特性値は、純資産総額に対する値です。

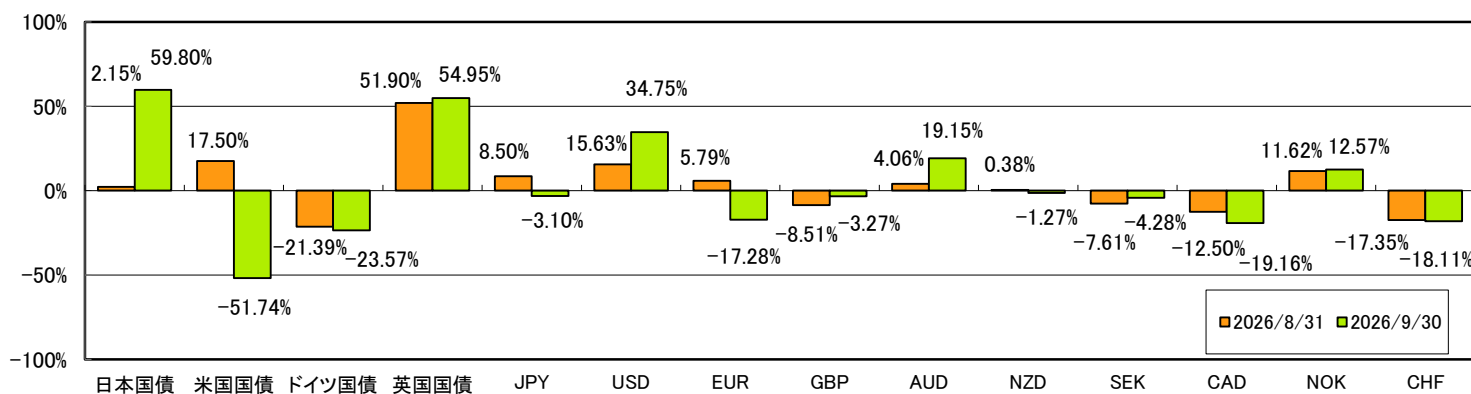
※ ネット最終利回り(税引前)は、「各国の債券先物の利回り×ネットエクスポージャー」で算出した数値を合計した概算値になります。

※ ネットデュレーションは、「各国の債券先物の修正デュレーション×ネットエクスポージャー」で算出した数値を合計した概算値になります。

※ ネットエクスポージャーは、債券先物については「先物の時価金額合計(*)/純資産総額」、為替予約については「為替予約取引評価額/純資産総額」により算出した数値で作成しています。

* 先物価格×枚数×取引単位(×為替評価レート)

ネットエクスポージャー推移



※ 対純資産総額比です。

市場動向と運用実績

当ファンドの基準価額は前月末比プラスとなりました。

通貨は、日銀が利上げを実施したことに加え、日米当局による円安けん制発言を受けて、円が買われました。これにより、スイス・フランのショートがプラスに寄与し、通貨全体はプラスとなりました。

債券は、米国とイランの戦闘再開などを背景に中東情勢が再び悪化したことを受けて、原油価格が上昇し、欧米の債券先物価格が下落しました。これにより、英国債のロングがマイナスに影響し、債券全体はマイナスとなりました。その結果、通貨のプラスが債券のマイナスを上回り、全体としてはプラスとなりました。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ヘッジファンドSMTBセクション(SMA専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2017年1月31日
作成基準日 : 2026年9月30日



マルチ・ストラテジー・ファンド(適格機関投資家専用)の資産の状況

戦略別寄与度

	リターン寄与
TCA	0.27%
先進国債券アロケーション	0.00%
通貨アロケーション	0.00%
株主還元リサーチ	-0.09%
αフォーカス	-0.06%
クオンツバリュ	0.03%
リサーチマーケットニュートラル	0.03%
Japan Small Cap	-0.11%
外国株式最小分散	-0.32%
先進国ハインカム入替	-0.11%
ゴールド投資	-0.28%
オーバーレイヘッジ	0.00%

戦略別株式組入比率

	ロングポジション	ショートポジション	先物ヘッジ比率
株主還元リサーチ	12.37%	-	-
αフォーカス	5.99%	5.96%	-
クオンツバリュ	12.69%	-	-12.69%
リサーチマーケットニュートラル	19.28%	-	-17.59%
Japan Small Cap	3.55%	-	-
外国株式最小分散	7.29%	-	-

※ 対純資産総額比です。
※ Japan Small Capは、投資信託の組入比率です。
※ 外国株式最小分散は、マザーファンドの組入比率です。

戦略の概要

TCA	過去のリターン傾向やマクロ経済動向などをもとに市場の中長期的なトレンドを捉えようとする戦略です。流動性の高い債券先物、株式先物、為替予約を投資対象とします。
先進国債券アロケーション	先進国国債市場間に生じる利回り格差や価格の方向性に着目し、ロングショートポジションを構築することで市場動向に左右されない収益獲得を狙う戦略です。
通貨アロケーション	通貨間の金利差、貿易・経常収支による需給や物価水準などに着目することで、幅広い時間軸での通貨の動きを捉えて安定した収益獲得を目指す戦略です。
株主還元リサーチ	業績安定度の高い企業の中から、増配や自社株買いなど持続的な株主還元拡大が期待できる銘柄に投資することで、低ボラティリティと高株価リターンの両立を目指す戦略です。
αフォーカス	類似した2銘柄間のロングショートポジションを通じ、収益獲得を狙う戦略です。 企業のファンダメンタルの違いや銘柄間の一時的な価格の乖離に着目しベアを構築します。
クオンツバリュ	PBR割安銘柄で構成されるロングポジションにTOPIX先物のショートカバーを組み合わせたクオンツタイプのロングショート戦略です。
リサーチマーケットニュートラル	中長期的な社会や産業の構造変化に着目した投資テーマを切り口に銘柄を選別します。現物株式のロングポジションにTOPIX先物のショートを組み合わせたマーケットニュートラル戦略です。
Japan Small Cap	中小型株式市場のプレミアムと高い成長性を、ファンドマネージャーの銘柄選択を通じてより効率的に享受する戦略です。
外国株式最小分散	過去のリスクが小さい銘柄ほど、その後の実績リターンが大きくなる「ローリスク・ハイリターン」のアノマリー現象に着目した銘柄群でポートフォリオを構成し、高い運用効率を狙う戦略です。
先進国ハインカム入替	定量モデル判断をメインに財政健全度と期待リターンが高い先進国の国債に投資し、原則為替ヘッジを行うことで安定的な絶対収益獲得を狙う戦略です。
ゴールド投資	金ETFに投資し(通常の投資環境においては原則として組入比率0~5%程度を想定)、インフレ懸念の台頭や金融市場を揺るがす出来事が発生した場合に実質的な資産価値の保全を図る戦略です。
オーバーレイヘッジ	市場の大幅な変動が見込まれる際は、先物等を活用してポートフォリオ全体に対するヘッジポジションを構築し、機動的にリスクをコントロールする戦略です。

市場動向と運用実績

【市場動向】
国内株式市場は下落しました。月前半は、中東情勢の緊迫化による原油高や世界的な金利上昇などから売りが優勢となり、下落しました。月後半は、米国や韓国でのAI(人工知能)・半導体株高の流れを受け、国内株式市場でも関連銘柄を中心に買いが優勢となりましたが、月間では下落しました。米国株式市場は下落しました。月前半は、原油価格の上昇を背景としたインフレ懸念や堅調な米8月雇用統計などによる早期利上げ観測の高まりを受けて、下落しました。月後半は、米国とイランの交渉進展期待から原油価格が下落したことを受けて反発したものの、月間では下落しました。
欧州株式市場は、インフレ懸念による金利上昇や、中東情勢の先行き不透明感による原油価格の高止まりなどから下落しました。
国内債券市場では10年国債利回りが3.050%に上昇(価格は下落)しました。月初は過去最大規模となる2027年度予算の概算要求などを背景に3%台へ上昇後、押し目買いや安全資産需要から一時低下しましたが、日銀による政策金利1.25%への追加利上げ後も、早期追加利上げ観測や海外金利上昇に加え、国債需給の悪化懸念もあり、月末にかけて再び上昇しました。米国10年国債利回りは、5.285%に上昇しました。FRB(米連邦準備理事会)のタカ派的な利上げや原油高、米経済指標の底堅さなどが影響しました。ドイツ10年国債利回りは、3.586%に上昇しました。ECB(欧州中央銀行)による利上げや、原油高に伴うインフレ懸念に加え、欧州主要国の財政不安などが金利上昇圧力となりました。
米ドル/円相場は、円高・米ドル安となりました。月前半は、ベッセント米財務長官の円安や過度な為替変動への懸念を示す発言や日銀の利上げペース加速の思惑などから、円高が進みました。月後半は、FOMC(米連邦公開市場委員会)での利上げ実施と米国の追加利上げ観測の高まりを受けて米長期金利が上昇し、円安・米ドル高が進みました。月末にかけては、片山財務相が日米首脳会談でトランプ米大統領が円安に懸念を示したことを明らかにしたことなどから、再び円高・米ドル安となりました。
ユーロ/円相場は、円高・ユーロ安となりました。月前半は、日銀の追加利上げ観測を背景に円買いが優勢となりました。月後半は、ユーロ高となる場面もありましたが、日米政府高官の円安をけん制する発言などを受けて月末にかけて再び円高・ユーロ安となりました。

【運用実績】
外国株式最小分散戦略やゴールド投資戦略などがマイナスに影響しました。TCA戦略はプラスに寄与しました。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ヘッジファンドSMTBセクション(SMA専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2017年1月31日

作成基準日 : 2026年9月30日

BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund — クラスS-JPYの資産の状況

特性値

金利デュレーション	2.66
スプレッド・デュレーション	2.43
うちソブリン債	0.64
うち社債	1.79
最終利回り	4.89 %
銘柄数	220
発行体数	117
クーポン	3.73 %

※ 「金利デュレーション」とは、債券価格の金利変動に対する感応度(変動率)を表しており、この値が大きいほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※ 「スプレッド・デュレーション」とは、債券価格のスプレッド(クレジット債利回りと国債利回りの差)変動に対する感応度(変動率)を表しており、この値が大きいほどスプレッド変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※ 左表の「金利デュレーション」、「スプレッド・デュレーション」はポートフォリオの感応度(変動率)を表しています。

※ 最終利回り(税引前)は、コーラブル債など債券にオプション等が内包されている債券については、計算される期待利回りのうち、最も低いものを対象としています。また、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

※ 各特性値は、純資産総額に対する値です。

格付別構成比

AAA	23.91%
AA	0.29%
A	13.67%
BBB	33.83%
BB	15.49%
B	0.26%
CCC以下	0.00%
無格付	7.35%
キャッシュ・その他	5.21%

※ 対純資産総額比です。

※ 格付はムーディーズとS&Pのうち、下位の格付を採用しています。

ネット通貨エクスポージャー

通貨	比率
ユーロ	3.79%
ブラジル・レアル	1.65%
メキシコ・ペソ	1.01%
ハンガリー・フォリント	0.99%
スイス・フラン	0.01%
日本円	0.01%
オフショア人民元	0.00%
カザフスタン・テンゲ	-0.01%
トルコ・リラ	-0.01%
カナダ・ドル	-0.01%
タイ・バーツ	-0.02%
英国ポンド	-1.54%
米国ドル	-2.81%
コロンビア・ペソ	-3.16%
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-
-	-

※ 対純資産総額比です。

組入上位5銘柄

	銘柄名	国・地域	セクター	比率
1	DBR 0 1/4 02/27 REGS	ドイツ	国債	20.42%
2	COLTES 13 1/4 02/09/33	コロンビア	国債	3.09%
3	MEX 4 7/8 05/16/36	メキシコ	国債	2.51%
4	JGB 2.2 06/20/54	日本	国債	2.37%
5	ICEGB 6 1/2 02/15/38	アイスランド	国債	1.74%

※ 対純資産総額比です。

市場動向と運用実績

【市場動向】
9月の金融市場では、主要国債利回りは上昇(価格は下落)しました。米国では、FRB(米連邦準備理事会)のタカ派的な利上げや原油高、米経済指標の底堅さなどが影響し、利回りは上昇しました。欧州では、ECB(欧州中央銀行)による利上げや、原油高に伴うインフレ懸念に加え、欧州主要国の財政不安などが金利上昇圧力となり、利回りは上昇しました。また、社債スプレッドは欧米ともに拡大しました。

【運用実績】
ポートフォリオのリターンは、マイナスとなりました。通貨戦略はプラスに寄与した一方、金利戦略、社債戦略、国債戦略はマイナスに影響しました。通貨戦略では、ブラジル・レアルやアイスランド・クローナ、カザフスタン・テンゲ、トルコ・リラのロング・ポジションがプラスに寄与しました。金利戦略では、米国債のロング・ポジションなどがマイナスに影響しました。社債戦略では、グローバルに社債スプレッドが拡大する中での、クレジット・リスクのロングがマイナスに影響しました。国債戦略では、メキシコのロング・ポジションなどがマイナスに影響しました。

※ 「BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund — クラスS-JPY」の資産内容等は、三井住友トラスト・アセットマネジメントが、RBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドからの情報提供に基づき作成しておりますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ヘッジファンドSMTBセクション(SMA専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2017年1月31日

作成基準日 : 2026年9月30日



MA Hedge Fund Strategies Limitedの資産の状況

《運用の基本方針》

主として、公表された合併や買収案件等において、合併案件の公表買収価格と買収先企業または買収元企業の案件成立前の株価の差異を捉える等、収益を積み上げることを目指して運用を行います。

資産内容

上場株式	98.92%
その他	45.09%
合計	144.02%

※ 対純資産総額比です。

国・地域別構成比

国・地域	ロング	ショート	グロス	ネット
米国およびカナダ	74.48%	33.39%	107.87%	41.10%
西欧州	21.80%	11.59%	33.39%	10.21%
アジア(日本を除く)	0.02%	0.00%	0.02%	0.02%
日本	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
その他	1.88%	0.86%	2.74%	1.02%
合計	98.18%	45.83%	144.02%	52.35%

※ 対純資産総額比です。

組入上位5銘柄(株式)

	買収先企業	買収元企業	比率
1	コルボ	スカイワークス・ソリューションズ	9.34%
2	ノーフォーク・サザン	ユニオン・パシフィック	8.62%
3	ワーナー・ブラザーズ・ディスカバリー	パラマウント・スカイダンス	7.93%
4	アーコサ	CRH	5.48%
5	バラリス	トランスオーシャン	5.41%

組入銘柄数 : 57

※ 買収先企業のロングエクスポージャーを純資産総額で除した割合です。

運用実績

9月の合併買収裁定戦略は、プラスとなりました。最も大きくプラス寄与した案件は、メディア・エンターテインメント関連の案件で、米12州との訴訟において和解が成立したことがスプレッドの縮小要因となりました。加えて、資源関連の案件では、欧州委員会への事業売却案提示および中国国家監督管理総局の審査の進捗などがスプレッドの縮小要因となりました。

※ 「MA Hedge Fund Strategies Limited」の資産内容等は、三井住友トラスト・アセットマネジメントがO'Connor Alternative Investments, LLCからの情報提供に基づき作成しておりますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

ヘッジファンドSMTBセレクション(SMA専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2017年1月31日

作成基準日 : 2026年9月30日

Managed Fund / Graham Quant Macro Fund Limited Class BRの資産の状況

《運用の基本方針》

世界各国の株式、債券、通貨、商品などの先物の市場の非効率性やトレンドなどを収益機会として捕捉し、各先物の収益機会の度合、ボラティリティ、流動性および他先物との相関に係る評価などを鑑みて、各先物のロング・ショート戦略などによりポートフォリオを構築し、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。

※ 以下の内容は、運用会社の方針により前月末のものを記載しています。

資産内容

先物(グロス)	268.63%
---------	---------

※ 対純資産総額比です。

先物別エクスポージャー

項目	ロング	ショート	グロス	ネット
株式	61.45%	-0.29%	61.74%	61.16%
北米	38.52%	-0.29%	38.81%	38.23%
欧州	10.35%	0.00%	10.35%	10.35%
日本	8.18%	0.00%	8.18%	8.18%
オセアニア・アジア除く日本	4.40%	0.00%	4.40%	4.40%
債券	30.26%	-39.21%	69.47%	-8.95%
北米	9.97%	-15.47%	25.44%	-5.50%
欧州	17.36%	-19.25%	36.61%	-1.89%
日本	2.93%	0.00%	2.93%	2.93%
オセアニア・アジア除く日本	0.00%	-4.49%	4.49%	-4.49%
コモディティ	34.99%	-5.33%	40.32%	29.66%
エネルギー	17.50%	-2.01%	19.51%	15.49%
産業用金属	6.71%	0.00%	6.71%	6.71%
貴金属	9.08%	0.00%	9.08%	9.08%
農産物等(ソフト・コモディティ)	1.70%	-3.32%	5.02%	-1.62%
通貨	51.34%	-45.76%	97.10%	5.58%
ドル	37.08%	-0.51%	37.59%	36.57%
ユーロ	6.12%	-0.19%	6.31%	5.93%
英ポンド	1.07%	-16.69%	17.76%	-15.62%
スイス・フラン	0.00%	-8.23%	8.23%	-8.23%
豪ドル	0.05%	-4.32%	4.37%	-4.27%
カナダ・ドル	0.04%	-10.29%	10.33%	-10.25%
その他	6.98%	-5.53%	12.51%	1.45%
合計	178.04%	-90.59%	268.63%	87.45%

※ 対純資産総額比です。

市場動向と運用実績

【市場動向】

主要株式市場は総じて上昇しました。米国株式市場は、堅調な企業業績や雇用・物価指標の鈍化を背景に、月前半はAI(人工知能)・半導体関連株が市場をけん引しました。月後半は中東情勢をめぐる不透明感や金利上昇、FRB(米連邦準備理事会)議長によるタカ派的な発言が市場の重石となりました。欧州株式市場は中東情勢への懸念が上値を抑えた一方、資源関連株の上昇と好調な企業決算が市場を支えました。アジア株式市場は香港市場が軟調な動きとなった一方で、主要市場はテクノロジー・セクターが軟調に推移する中、出遅れていた業種への買い戻しが入り底堅く推移しました。金利は、グローバルに上昇(債券価格は下落)しましたが、米国では10年超の金利はやや低下しました。クレジット・スプレッドは縮小しました。為替は、米ドルは全般的に弱含みましたが、対円では、米ドル、ユーロともに上昇しました。コモディティは、貴金属が大きく上昇し、原油、工業用金属も上昇しました。

【運用実績】

8月のリターンはプラスとなりました。資産別では、エネルギーがプラス寄与した一方、債券はマイナスに影響しました。エネルギーでは、原油価格の上昇を背景に、天然ガスのショート・ポジション以外がプラスに寄与しました。債券では、金利の上昇を背景に主に欧州中期国債や米国債のロング・ポジションがマイナスに影響しました。一方、短期金利のショート・ポジションはプラスに寄与しました。

※ 「Managed Fund / Graham Quant Macro Fund Limited Class BR」の資産内容等は、三井住友トラスト・アセットマネジメントが、Graham Capital Management, L.P.からの情報提供に基づき作成しておりますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ヘッジファンドSMTBセクション(SMA専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2017年1月31日

作成基準日 : 2026年9月30日



JPMorgan Funds – Europe Equity Absolute Alpha Fund Class I(perf) (acc) – JPY(hedged)の資産の状況

《運用の基本方針》

主として、直接またはデリバティブを活用して、欧州企業の株式の買建(ロングポジション)および売建(ショートポジション)を組み合わせることで、市場エクスポージャーを抑制しながら投資信託財産の成長を目指します。なお、小型株に投資することがあります。

※ 以下の内容は、運用会社の方針により前月末のものを記載しています。

特性値

銘柄数		379
エクスポージャー	ロング	74.51%
	ショート	-64.14%
	ネット	10.37%

※ 対純資産総額比です。

寄与度上位5業種

	業種	寄与度
1	ソフトウェア・サービス	0.37%
2	商業・専門サービス	0.26%
3	エネルギー	0.21%
4	運輸	0.18%
5	耐久消費財・アパレル	0.16%

寄与度下位5業種

	業種	寄与度
1	資本財	-0.75%
2	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	-0.22%
3	自動車・自動車部品	-0.15%
4	食品・飲料・タバコ	-0.14%
5	金融サービス	-0.10%

寄与度上位5銘柄

	銘柄	寄与度
1	COMPUTACENTER PLC	0.15%
2	KERING	0.13%
3	VERISURE PLC	0.11%
4	Clariant	0.07%
5	ADP	0.07%

寄与度下位5銘柄

	銘柄	寄与度
1	EIFFAGE	-0.10%
2	ADYEN NV	-0.09%
3	PAN AFRICAN RESOURCES PLC	-0.09%
4	SPOTIFY TECHNOLOGY SA	-0.08%
5	SARTORIUS AG-VORZUG	-0.08%

市場動向と運用実績

【市場動向】

欧州株式市場は上昇しました。月前半は、米国とイランの交渉進展期待から原油価格が下落したことを背景に米早期利上げ観測が後退したことや、好調な企業決算を好感して、買いが優勢となりました。月後半は、中東情勢の不透明感に伴う原油価格の高騰を受けて、利上げ観測が高まり下落したものの、月間では上昇しました。

【運用実績】

8月の当ファンドのリターンはマイナスとなりました。ソフトウェアのロングポジションはプラスに寄与したものの、資本財のショートポジションはマイナスに影響しました。

※ 「JPMorgan Funds – Europe Equity Absolute Alpha Fund Class I(perf) (acc) – JPY(hedged)」の資産内容等は、三井住友トラスト・アセットマネジメントが、JPMorgan Asset Management (UK) Limitedからの情報提供に基づき作成しておりますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ヘッジファンドSMTBセクション(SMA専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2017年1月31日

作成基準日 : 2026年9月30日



ファンドの特色

1. 主として、絶対収益を追求する複数のヘッジファンド(以下「投資対象ファンド」)に分散投資することで、絶対収益の獲得を目指します。
2. 各投資対象ファンドへの投資割合については、定期的な見直しを行うほか、市場環境等に応じて変更を行います。また、投資対象ファンドは適宜見直しを行います。

投資リスク

《基準価額の変動要因》

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。
従って、**投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- **信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者の皆様に帰属します。**
- **投資信託は預貯金と異なります。**

【株価変動リスク】

株価は、発行者の業績、経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

【金利変動リスク】

債券の価格は、一般的に金利低下(上昇)した場合は値上がり(値下がり)します。また、発行者の財務状況の変化等及びそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。債券価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

【リートの価格変動リスク】

リートの価格は、不動産市況(不動産稼働率、賃貸料、不動産価格等)、金利変動、社会情勢の変化、関係法令・各種規制等の変更、災害等の要因により変動します。また、リート及びリートの運用会社の業績、財務状況の変化等により価格が変動し、基準価額の変動要因となります。

【商品(コモディティ)の価格変動リスク】

商品の価格は、需給関係や為替、金利変動等の様々な要因により大きく変動します。需給関係は、天候、作況、生産国(産出国)の政治、経済、社会情勢の変化等の影響を大きく受けます。商品価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

【為替変動リスク】

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。

なお、投資対象ファンドにおいて、外貨建資産について、為替予約を活用し、為替変動リスクの低減を図る場合がありますが、完全にヘッジすることはできませんので、外貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、為替ヘッジを行う通貨の短期金利と円短期金利を比較して、円短期金利の方が低い場合には、当該通貨と円の金利差相当分のコストがかかりますが、さらに需給要因等によっては金利差相当分を上回るコストがかかる場合があることにご留意ください。

【信用リスク】

有価証券の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、又はそれが予想される場合には、有価証券の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。

【流動性リスク】

時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落要因となる可能性があります。

【カントリーリスク】

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、又はそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。また、新興国への投資は先進国に比べ、上記のリスクが高まる可能性があります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ヘッジファンドSMTBセレクション(SMA専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2017年1月31日

作成基準日 : 2026年9月30日

投資リスク

【ヘッジファンドの運用手法に係るリスク】

投資対象ファンドにおいては、直接もしくは実質的に現物有価証券、デリバティブや為替予約取引等の買建てや売建てによりポートフォリオを組成することがあり、買い建てている対象が下落した場合もしくは売り建てている対象が上昇した場合に損失が発生し、ファンドの基準価額が影響を受け、投資元本を割り込むことがあります。また、投資対象ファンドの純資産総額を上回る買建て、売建てを行う場合があるため、投資対象ファンドの基準価額は現物有価証券に投資する場合と比べ大きく変動することがあり、投資元本を割り込むことがあります。

ヘッジファンドのパフォーマンスは、通常、運用者の運用能力に大きく依存することになるため、市場の動向に関わらず、損失が発生する可能性があります。

【仕組み債券に係るリスク】

投資対象ファンドにおいては、特定の対象(指数やファンド等)の値動きに概ね連動する投資成果を目指す仕組み債券を活用する場合がありますが、投資対象ファンドが、特定の対象と連動することを保証するものではありません。

また、仕組み債券の価格は取引に関わる関係法人の財務状況等及びそれらに関する外部評価等、市場や経済環境の悪化や混乱、また概ね連動を目指すファンドの流動性の制約等により変動し、あるいは債券取引が一部不可能となる等、概ね連動を目指す対象と大きく乖離することがあります。加えて、通常、仕組み債券の取引に関わるブローカーは限定的であり(1社の場合もあります)、取引にあたっては高いコストがかかる場合があります。

なお、仕組み債券の発行体は少数であることが多いため、信用リスクが顕在化した場合には、投資対象ファンドは多数の発行体に分散投資を行う投資信託と比較して、大きな影響を被る可能性があります。また、発行体の財務状況や信用力の他、市場や経済環境の変動等により、仕組み債券が発行されない場合には、投資対象ファンドが償還となる可能性があります。

【ブローカーの信用リスク】

投資対象ファンドにおいては、直接もしくは実質的にデリバティブや為替予約取引等を行う場合があります。ブローカーの債務不履行等によって、ブローカーで保管されている証拠金の一部又は相当の額が失われる可能性や契約が履行されない可能性があり、ファンドが大きな影響を被る可能性があります。

【有価証券の貸付等に係るリスク】

投資対象ファンドにおいて有価証券の貸付の指図を行った場合、取引相手先の倒産などにより決済が不履行となるリスクがあり、基準価額の下落要因となる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

《その他の留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益及び評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ファンドは、大量の換金申込が発生し短期間で換金代金を手当てする必要が生じた場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。
これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止、取り消しとなる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ヘッジファンドSMTBセレクション(SMA専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2017年1月31日

作成基準日 : 2026年9月30日

お申込みメモ

- 購入単位…販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入価額…購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
- 購入の申込者の制限…販売会社と投資一任契約を締結されている投資者等に限るものとします。
- 換金単位…販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額…換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。(信託財産留保額の控除はありません。)
- 換金代金…原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
- 申込締切時間…原則として、販売会社の営業日の午後3時半までにお申込みが行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日のお申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入・換金…購入・換金のお申込みを受け付けない日は下記の通りです。
- | 申込日当日又は申込日の翌営業日が下記の場合 | 申込日当日が下記の場合 |
|---|---|
| ニューヨーク証券取引所の休業日
ロンドン証券取引所の休業日
ニューヨークの銀行休業日
ロンドンの銀行休業日
欧州自動即時グロス決済システム(TARGET)の休業日 | アイルランド証券取引所の休業日
ルクセンブルクの銀行休業日
英領ガーンジーの銀行休業日
アイルランドの銀行休業日 |
| | ドイツ証券取引所の休業日
スイス証券取引所の休業日
ドイツの銀行休業日
スイスの銀行休業日
12月24日 |
- 換金制限…ファンドの規模及び商品性格などに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間及び金額の制限を行う場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入・換金申込受付中止及び取消し…金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及びすでに受け付けた購入・換金のお申込みの取消しを行うことがあります。
- 信託期間…無期限(2017年1月31日設定)
- 繰上償還…次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させることができます。
・受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合
・ファンドを償還することが受益者のために有利であると認める場合
・やむを得ない事情が発生した場合
- 決算日…毎年7月10日(休業日の場合は翌営業日)です。
- 収益分配…年1回、毎決算時に原則として収益分配を行う方針です。
- 課税関係…課税上は株式投資信託として取り扱われます。
なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用

《投資者が直接的に負担する費用》

■ 購入時手数料

ありません。

■ 信託財産留保額

ありません。

《投資者が信託財産で間接的に負担する費用》

■ 運用管理費用(信託報酬)

運用管理費用(信託報酬)の総額は、以下の通りです。

<当ファンド>

純資産総額に対して年率0.33%(税抜0.3%)を乗じて得た額

<投資対象とする投資信託証券>

純資産総額に対して年率0.0%~1.728%程度(税抜0.0%~1.6%程度)

<実質的な負担>

純資産総額に対して **年率0.33%~2.058%程度(税抜0.3%~1.9%程度)**

この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入れ状況等により変動します。なお、投資対象ファンドによっては、別途運用実績に基づき計算される成功報酬額がかかる場合があります。

■ その他の費用・手数料

有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用、投資対象ファンドの売買に伴う信託財産留保額等をその都度、監査費用等を日々、ファンドが負担します(投資対象ファンドにおいて負担する場合を含みます。)。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。また、上場投資信託証券は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託証券の費用は表示しておりません。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。



ヘッジファンドSMTBセレクション(SMA専用)

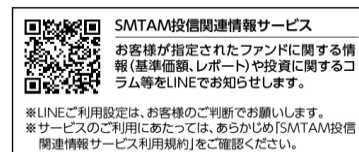
追加型投信／内外／資産複合／特殊型(絶対収益追求型)

当初設定日 : 2017年1月31日

作成基準日 : 2026年9月30日

委託会社・その他の関係法人の概要

- 委託会社 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社(ファンドの運用の指図を行う者)
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号
 加入協会 : 一般社団法人資産運用業協会
 ホームページ : <https://www.smtam.jp/>
 フリーダイヤル : 0120-668001 受付時間 9:00~17:00 [土日・祝日等は除く]
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社(ファンドの財産の保管及び管理を行う者)



販売会社

商号等		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○		○	
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	

- ・ お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、販売会社へお申し出ください。
- ・ 販売会社は今後変更となる場合があります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。